

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、12～20℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり0.6トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の62%（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり112kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり8.6トンの水揚げで、前週の2.1倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり779kgの水揚げで、前週の4.3倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり12kgの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。
- 定置網――五島有川地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり68kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり146kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり31kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり40kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり169kgの水揚げで、前週の3.2倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり21kgの水揚げ。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/10～3/15の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、切揚中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）5日延12隻、総計443箱、1航海最高57箱、平均36.9箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～40入り。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>